



テーマ 韓国の財政政策と財政健全化(要旨)

元鍾鶴 (Jonghak Weon, Ph.D.)  
韓国租税財政研究院  
財政成果評価センター

2008年のグローバル金融危機以降、各国において財政健全性に対する関心が高まっている。韓国政府は、国防、教育、社会間接資本(SOC)等の分野に選択と集中の原則の下、財源を分配することで経済成長と社会発展を図って来た。1980年以降韓国経済は規模が大きくなるにつれ政府主導型経済から民間中心の市場経済へと転換が行われたが、この時期も韓国政府は緊縮財政を維持し、財政健全性の確保に力を注いだ。

韓国経済は、1997年勃発したアジア金融危機で未曾有の不況に見舞われる。不況から脱出するため、韓国政府は積極的に金融構造調整を推進し、社会的セイフティ・ネットワークを拡充した。その結果、1997年の金融危機を克服した以降も福祉支出の増加がつづき、公的資金償還が終わる2007年までに国家債務は緩やかに増加した。

2008年のグローバル金融危機の際にも韓国政府は、拡張的財政政策をもって対応したので国家債務が急増したが、2009年下半年から始まった財政健全化政策で国家債務の増加トレンドは緩和された。2013年現在、国家債務の対GDP比は36.5%で世界的な標準から見ても低い水準を維持している。

今後韓国の財政健全化を脅かす要因としては、急速に進行している少子高齢化、福祉に対する国民の需要増大、予測されない財政危機の到来、南北統一などが挙げられる。この中で、人口構造の変化や福祉制度拡大に伴う財政支出拡大はある程度確実で、その規模も予測可能だが、財政危機や統一費用は発生時期や規模に不確実性が高い。したがって、今後財政健全性を維持するためには、不確実な支出変化の性格を明らかにし、それぞれに適した財源対策を講ずることが重要な課題になっている。

## 執筆者紹介

### 元鍾鶴 (Jonghak Weon, Ph.D.)

韓国租税財政研究院  
財政成果評価センター

#### 学歴

- 1988 延世大学経済学科卒業
- 1990 延世大学経済学科修士課程卒業
- 1995 一橋大学経済研究科修士課程卒業
- 2002 一橋大学経済研究科博士課程卒業  
(博士)



#### 経歴

- 1999～2001 東京都立大経済研究科 助手
- 2002.3～200.12 延世大学東西問題研究所 研究教授
- 2002.12～現在 韓国租税財政研究院

#### 研究テーマ

労働市場 (若年、女性)、成果評価

当財団では、第一線で活動される気鋭の執筆者に依頼、時代を拓く提案、提言をニュースレターとして発信しています。ニュースレターのバックナンバーはホームページをご覧ください。

一般財団法人 未来を創る財団 <http://www.theoutlook-foundation.org>

本号の執筆者元鍾鶴氏は；

元鍾鶴氏対談 経済ジャーナリスト磯山友幸氏「現代ビジネス」[goo.gl/elAE19](http://goo.gl/elAE19)  
ウォンジョンハク韓国 KPIF フェローが語る

「韓国経済のグローバル化政策は止まらない、つぎのチャンスは南北統一」  
をあわせてご覧ください。

© 2014 The Outlook Foundation, All rights reserved.